



市長モリテツの  
ほっとトーク

December 2022

## アウトドアで三田に賑わいを

— 自然を活かした新たなまちづくり —

三田市長 森 哲男

私は武庫川の桜並木が美しい「三田の春」も大好きですが、紅葉が映える里山が美しい「三田の秋」も大好きです。四季それぞれに違った顔を見せる自然豊かな里山が、三田の魅力の一つです。その里山は都市部や住宅地域に隣接しており、三田では気軽に、豊かな自然に触れ、楽しむことができます。

今、「アウトドア」が地域活性化の切り札の一つと言われています。グランピングがブームになり、三田でもいくつかの施設ができています。また、休日には、多くの釣り人やサイクリストが三田を訪れます。市内外から、さらに多くのアウトドアの楽しさを求める人々を迎えることで、三田に新たな賑わいが生まれると期待しています。

私は、市内北東部を中心に「アウトドア」をキーワードにした新たなまちづくりを目指してきたいと考えています。そのため、まずは中核となる二つのプロジェクトを推進します。

一つは、「野外活動センター再生プロジェクト」です。昭和47年に市内小柿に開設された当センターは、施設の老朽化が進む中で、新しい魅力づくりが難しくなっています。

この度、民間企業と公民連携に取り組むことで、訪れる人々が豊かな自然を体感し、特別な空間と時間を満喫できるフィールドとして、生まれ変わることを目指します。

もう一つは、「千丈寺湖畔再生プロジェクト」です。県立有馬富士公園に隣接する千丈寺湖畔は、三田の豊かな自然に親しむことができるスポットですが、湖畔周辺が持つ魅力はまだ十分に引き出されていないと考えています。市内に残された最後の大型集客スポットになる可能性を秘めた場所です。現在、市役所の若手職員で構成するプロジェクトチームが、2025年の大阪・関西万博を契機にした集客を目指し、検討を進めています。若手職員らの斬新な発想に大いに期待しています。

市内北東部は、豊かな自然環境が保全されており、里山と農村集落が共生する地域ですが同時に、高齢化や若者の転出などによる人口減少といった大きな課題も抱えています。課題を抑制し、地域活性化を図るためにも、アウトドア施設を整備し、さまざまな交流事業を進めることにより新たな賑わいを創出していききたいと考えています。

### Mayor's Photo Diary



10月29日 県立人と自然の博物館開館30周年記念式典であいさつ。放蝶で新施設開館を祝賀した



11月8日 三田市戦没者追悼式で遺族らとともに戦争で犠牲となった1,074人の冥福を祈った



11月10日 永年培った技能で市民生活と地域産業を支えてきた3人に「三田市技能金蘭賞」を贈呈